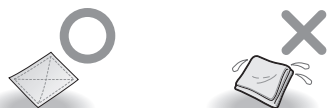


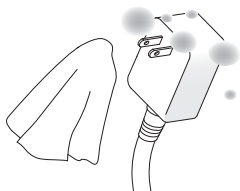
電源プラグ (目安：月に1回)



かわいた布

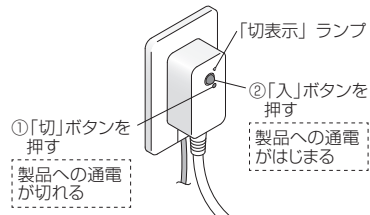
ぬれた布

1 電源プラグを抜き、かわいた布でふく



2 電源プラグを差し込み、作動確認をする

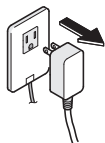
(電源プラグについて→P.13 ※1)



「切表示」ランプが、
①で点灯、②で消灯すれば正常です。

警告

- 電源プラグの刃などについたほこりは、定期的に取り除く
 - プラグを抜き、かわいた布でふいてください。
- 根元まで差し込む
- 抜くときは、電源プラグ本体を持つ
 - コードを引っ張ると、プラグやコードが傷みます。



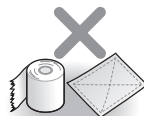
警告

- ！ お手入れや点検のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く (感電や誤作動による故障の原因)

お手入れの際は
安全のため
電源プラグを
抜いてください。 ※1 ※2



プラスチック部品には、
かわいた布やトイレト
ペーパーを使わないで
ください。
(傷つきの原因)



- ※1 「ノズルそうじ」「便器そうじ」「お掃除ミスト」使用時は除く
- ※2 電源プラグを差し込んで約20秒間は便ふたが自動で開きません (準備運転中のため)。リモコンで操作してください。

ウォシュレット本体

ウォシュレット本体 (ふだん)



水でぬらした
やわらかい布

・トイレトペーパー
・かわいた布
・ナイロンたわし (傷つきの原因)

1 電源プラグを抜き、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく

- 汚れがひどいときは
 - ・うすめた台所用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふいてから、水ぶきする



2 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

お願い

- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入ったり、洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないよう、気をつけてください。ノズルまわりにあるカバーなどに直接洗剤を入れないでください。(プラスチックを傷めたり、故障の原因)
- トイレ用洗剤で便器を掃除するときは、3分以内に洗い流し、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。
 - 便器に残った洗剤はふき取ってください。
(洗剤の気化ガスがウォシュレット本体内に入ることによる、故障の原因)
<「便ふた閉止後洗浄モード」(P.30)を「入」にしている場合> (P.9)
- ノズルまわりにあるカバーは、無理な力で押しったり引っ張ったりしないでください。(破損や故障の原因)
- 便座裏面や便座クッションなども、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。(汚れ付着などによる変色の原因)
- 便座の上に水滴が残らないようにふいてください。(着座センサーの誤作動の原因)

お掃除ミスト (ふだん)

きれい除菌水のミストで汚れを浮かせてお手入れすることができます。
便器内にきれい除菌水のミストをかけます。

リモコン裏面

⇒リモコンの取りはずしかた (P.12)

お掃除
ミスト 押す

便器（ふだん）



- ・掃除用スポンジ
- ・ブラシ
- ・トイレ用中性洗剤



- ・業務用の強酸性/強アルカリ性洗剤
- ・研磨剤入りの洗剤
- ・フッ素系洗剤（フッ化水素・フッ化アンモニウムを含む）
- ・撥水性洗剤
- ・金属ブラシ
- ・研磨剤入りのナイロンたわし

- 電源プラグを抜き、掃除用スポンジ・ブラシなどでお手入れする
■便器の水面を下げてお手入れすることができます。
（電源プラグを差し込んでください。）



「便器そうじ」

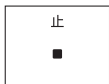
リモコン裏面 ⇒ リモコンの取りはずしかた（P.12）

便器
そうじ
を押す

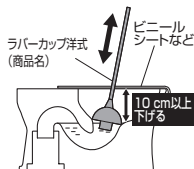
- ・便器に水が流れて排水されたのち、約50秒間水面が下がる
便器内のそうじをしてください。

- ・便器の水が排水され、もとの水位に戻る

- 途中で止めたいとき



（リモコン正面）押す



- 便器が詰まったときは

- ・市販の詰まり除去用の器具（商品名：ラバーカップ洋式など）を使う
- ・水位が便器の上面近くまである場合は、手動ポンプなどを使用し便器上面より10 cm以上上げる（ラバーカップ洋式など使用時に汚水があふれて室内浸水の原因）

- 床が汚れたときは

- ・よくしぼったぞうきんでふき取る
（床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれ）
- ・立って小用したときの跳ね返りは座ってすることで軽減できます。

- 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

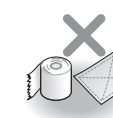
お願い

- ウォシュレット本体や、ウォシュレット本体と便器のすき間に、水がかからないよう気をつけてください。
（室内浸水の原因）
- 撥水性や防汚性のある洗剤・表面コート剤などは使用しないでください。陶器表面を傷めることはありませんが、洗剤やコート剤の成分が陶器表面を覆ってしまい、防汚効果が十分発揮できなくなります。

本体のすき間（ウォシュレット本体と便器）

ウォシュレット本体と便器のすき間（目安：月に1回）

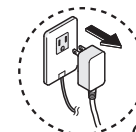
ウォシュレット本体をお掃除リフトボタンで持ち上げて、便器とのすき間をお手入れできます。



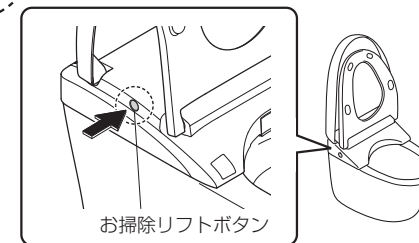
水でぬらした
やわらかい布

トイレットペーパーなど
（傷つきの原因）

- 電源プラグを抜き、便座・便ふたを開ける

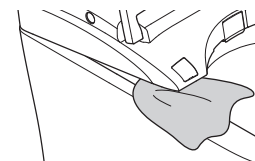


- お掃除リフトボタンを押す
・ウォシュレット本体の前側が上がる



- すき間のお手入れをする

- ・うすめた台所用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふいてから、洗剤が残らないよう水ぶきする



注意

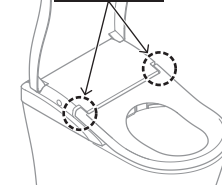
- お掃除リフトでウォシュレット本体が上がった状態で使用しない
- お掃除リフトでウォシュレット本体を下げるときは、本体と便器のすき間に指を入れない

お願い

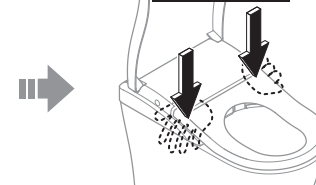
- 直接スプレー式洗剤や水をかけないでください。
- ウォシュレット本体を上げたまま、便座・便ふたを無理に動かさないでください。

- 便座を閉じて、ウォシュレット本体を「カチッ」と音がしなくなるまでしっかり押し下げる

必ずここを
押す



真っすぐ
押し下げる



※最大6回「カチッ」と音がします。

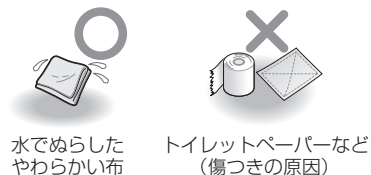
- 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する

お手入れ

本体のすき間(ウォシュレット本体と便ふた)

ウォシュレット本体と便ふたのすき間(目安: 月に1回)

便ふたを取りはずして、
すみすみまでお手入れができます。



1 電源プラグを抜き、 便ふたを取りはずす

便ふたを少し手前に傾ける

- ↓
- (A): 便ふたを外側に広げ
- ↓
- (B): ヒンジ部を凸部からはずし引き上げる
- ↓
- (C): 便ふたをはずす

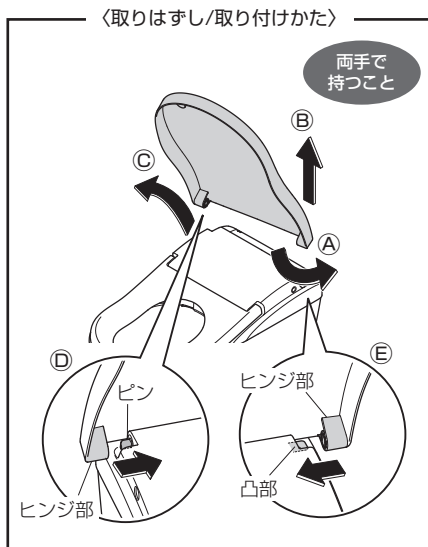
2 水でぬらしたやわらかい布を よくしぼって、ふく

3 便ふたを取り付ける

- (D): ピンとヒンジ部を合わせる
 - ↓
 - 便ふたを少し手前に傾ける
 - ↓
 - (A): 便ふたを外側に広げながら
 - ↓
 - (E): ヒンジ部を凸部に合わせ取り付け
- ※指をはさまないように注意してください。

4 電源プラグを差し込み、 便ふたを開閉して 取り付けを確認する

- ・「運転」ランプが点灯する



ノズル

脱臭フィルター

ノズル(目安: 月に1回)

<汚れが気になるとき(ノズルそうじ)>

1 ノズルを出す

リモコン裏面 ⇒ リモコンの取りはずしかた(P.12)

ノズル
そうじ を押す

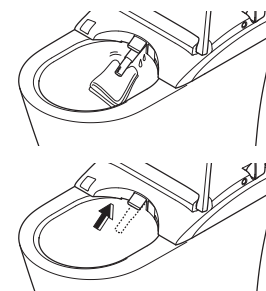
- ・ノズルが出て掃除のための水が出る
- ・約5分後に自動で戻る

2 やわらかい布で水ぶきする

- ・ノズルを無理に引っ張ったり、押し込んだり、
押さえつけたりしない
(破損や故障の原因)

3 ノズル そうじ を押す

- ・ノズルが戻る



脱臭フィルター(目安: 月に1回)

1 電源プラグを抜く

2 脱臭フィルターの つまみを持ち、 手前に引き出す

- ・無理に引っ張らない
(破損や故障の原因)
- ・脱臭フィルターは取り
はずせません。

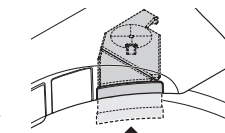
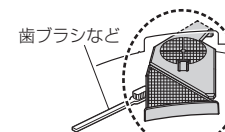
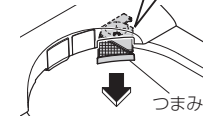
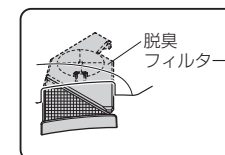
3 歯ブラシなどで 掃除をする

4 脱臭フィルターを 押し込む

- ・もとの位置まで確実に押
し込む

5 電源プラグを差し込む

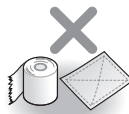
- ・「運転」ランプが点灯する



便スキャンセンサー (目安：月に1回)

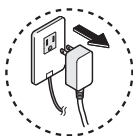


水でぬらした
やわらかい布



トイレットペーパーなど
(傷つきの原因)

- 1 電源プラグを抜き、
便座・便ふたを開ける



- 2 便スキャンセンサーカバーを
開けて、水でぬらしたやわらかい
布をよくしぼって、ふく
・便スキャンセンサーカバーを無理な力で押したり
引っ張ったりしない。(破損や故障の原因)

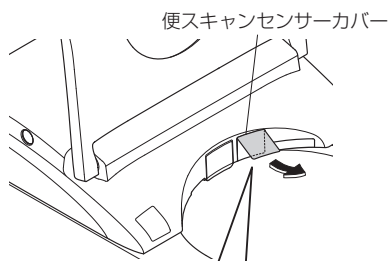
■汚れがひどいときは

- ・うすめた台所用中性洗剤をふくませた
やわらかい布でふいてから、洗剤が残らない
よう水びきする

お知らせ

- ・お掃除リフトボタン (P.45) でウォシュレット
本体を持ち上げてお手入れすると、
便スキャンセンサーの位置が見やすくなります。

- 3 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する



給水フィルター付 水抜栓 (目安：半年に1回)

＜水勢が弱くなったと思ったとき＞

- 1 止水栓カバーを取りはずし、
止水栓または元栓を閉める
(P.4)
・給水が止まる

⚠ 注意



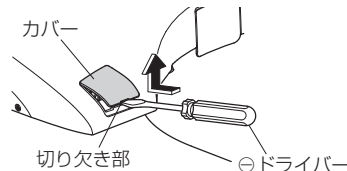
止水栓や元栓を開けたまま、
給水フィルター付水抜栓を
取りはずさない
(水が噴き出す原因)

- 2 ノズルを
○ 押す
・給水管の圧抜き

- 3 電源プラグを抜く

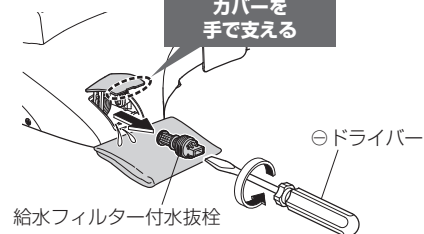
- 4 便座・便ふたを開ける

- 5 カバーを開けて、
給水フィルター付水抜栓を
取りはずす
①カバーの切り欠き部に⊖ドライバーを
差し込んで開ける



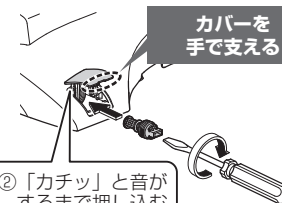
- ②給水フィルター付水抜栓を
⊖ドライバーでゆるめて、引っ張る

カバーを
手で支える



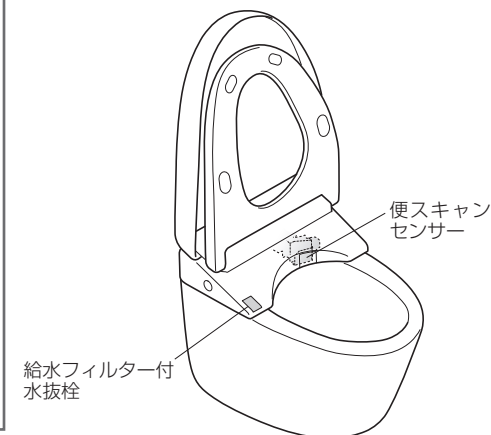
- 6 歯ブラシなどで掃除をする
・給水フィルター付水抜栓取付穴のゴミ
も取り除く
・汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、
交換をおすすめします。(購入はP.74)

- 7 給水フィルター付水抜栓を
取り付け、カバーを閉める
①給水フィルター付水抜栓を押し込み、
⊖ドライバーで確実に締める



- 8 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する

- 9 止水栓または元栓を開けて、
止水栓カバーを取り付ける
(P.13)



給水フィルター(便器) (目安：半年に1回)

- 1** 止水栓カバーを取りはずし、
止水栓または元栓を閉める
(P.4)

・給水が止まる

⚠ 注意



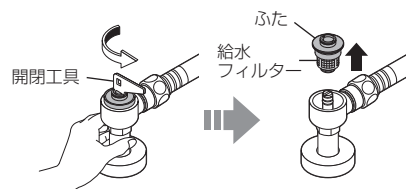
止水栓や元栓を開けたまま、
給水フィルターを取りはず
さない
(水が噴き出す原因)

- 2** **必ず実施**
ノズルきれい
○ 押す

・給水管の圧抜き
(実施しないと、水が吹き出す原因に
なります。)

- 3** 電源プラグを抜き、
給水フィルターのふたを
開けて給水フィルターを
取り出す

・開閉工具 (付属) を使用する



- 4** 給水フィルターをふたから
取りはずし、歯ブラシなどで
掃除する

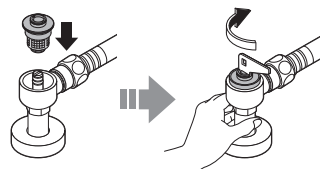
・洗剤は使わない
・給水フィルターに無理な力を加えない
(変形の原因)
・汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、
交換をおすすめします。(購入は P.74)



- 5** 給水フィルターをふたに
取り付け

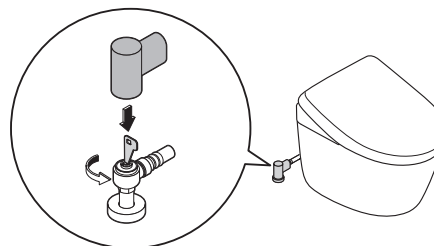


- 6** 給水フィルターのふたを
もとの位置に取り付け、
開閉工具で締め付ける

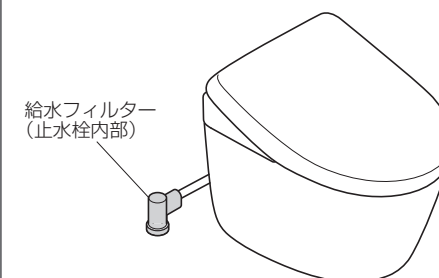


- 7** 止水栓または元栓を開けて、
止水栓カバーを取り付ける
(P.13)

・止水栓と配管接続部から水漏れがない
か確認する



- 8** 電源プラグを差し込む
・「運転」ランプが点灯する



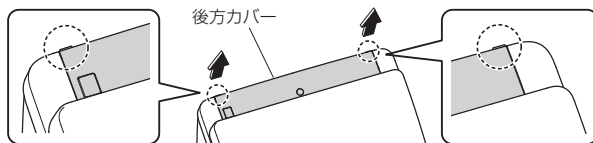
こんなときは

停電で水が流せないとき(断水していないとき)

■給水リング(オレンジ)と水ためリング(白)で便器の水を流すことができます。



1 後方カバーを取りはずす

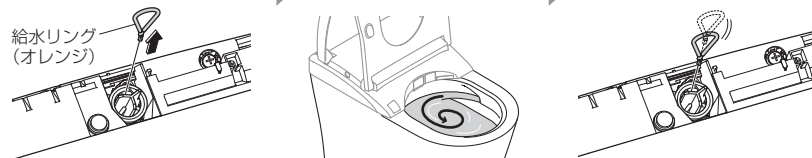


図の位置を上を持ち上げながら取りはずす

2 便座・便ふたを開ける

3 給水リング(オレンジ)を操作して、便器に水を流す

①給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引く ⇒ 水が流れ始める ⇒ ②給水リング(オレンジ)をはなす



4 水ためリング(白)を操作して、便器の水たまり面を上昇させ、便器の水を流す



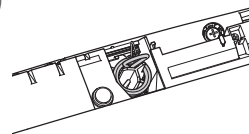
ご注意

・水ためリング(白)を引き続けると、便器の水があふれることがあります。

お願い

・水ためリング(白)をはなしても便器の水が流れない場合は、便器が詰まっている可能性があります。給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引き、はなした後、便器の詰まりを取り除いてください。(P.44)(水があふれる可能性があるため)

5 水ためリング(白)を元の位置に戻す

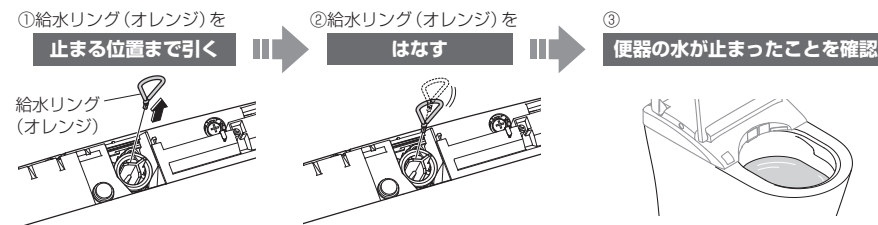


必ず実施

6 便器の水が元の高さまで戻ったら、給水リング(オレンジ)を操作して、便器に流す水を止める

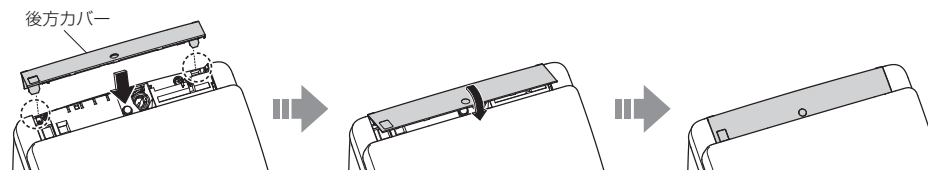
お願い

・汚物がきれいに流れなかった場合は、もう一度手順⑥からやり直してください。



給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引くことで、便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。必ず給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引き、便器に流す水を止めてください。

7 後方カバーを取り付ける



お願い

・停電が復帰したら、必ず大洗浄してください。(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)
 ・バケツで便器の水を流すこともできます。(P.54)